

令和 6年度 指定管理者評価表

【別紙5】

施設名：河内長野金剛霊殿

指定管理者名：富士建設工業株式会社

1. 個別評価

評価項目	評価の視点	自己評価	市評価
サービスの提供	施設の設置目的に沿って平等利用が確保されたか。	A	A
	施設の設置目的に沿ってサービスを提供しているか。	A	A
	利用時間、利用日、利用期間は遵守されているか。	A	A
	利用者に対する情報提供、情報発信は適切か。	A	A
	利用の承認、案内等は適切かつ迅速か、また接遇は適切か。	A	A
	利用者のニーズを把握し、改善、工夫を行っているか。	A	A
	施設の利用率は適正な水準にあるか。	A	A
	苦情等の対応は迅速かつ適切か、また市に迅速に報告しているか。	A	A
	指定管理者が行った自主事業は、市民サービスの向上に役立ったか。	A	A
施設等の維持管理	不具合が生じた場合の市への報告は適切か。	A	A
	建物躯体及び設備機器の点検・保守、安全確認等は適切か。	A	A
	修繕は適切か。	A	A
	備品の管理は適切か。	A	A
	清掃、警備、衛生管理は適切か。	A	A
労務状況	サービス提供及び施設の維持管理のため、計画どおり適正な人員が配置されているか。	A	A
	勤務体制が、勤務者の休暇、休憩等の取得が適正か。	A	A
	必要な専門的資格、技術を有する人材を確保しているか。	A	A
	従業員に対して、計画的、効果的な人材育成を行っているか。	A	A
	労働諸法を遵守しているか。	A	A
危機管理	緊急時に備えた、体制、対応マニュアル、研修・訓練等は適切か、また、防火、防犯体制の整備、研修、訓練等は適切に行われているか。	A	A
	災害、事故、盗難等の発生時に迅速な対応ができる組織体制と連絡体制になっているか。	A	A
	利用者の安全は確保されているか。	A	A
個人情報	個人情報保護のための体制、書類等の整備・保管、問い合わせ等への対応、研修は適切か。	A	A
	個人情報保護及び情報公開に関する関係法令を理解しているか。	A	A
	万が一、個人情報が流出した場合の対応が検討されているか。	A	A
財務状況	管理に要する収支は適正に保たれているか。	A	A
	支払いの遅滞は生じていないか。	A	A
	使用料、利用料金収入は計画どおりか。収入の増加が図られているか。	A	A
	現金は適正に取扱われているか。	A	A
	経費は縮減されているか、または、縮減に向けての努力がされているか。	A	A
	業務を外部委託している場合、その業務は施設管理の主要な部分以外であるか、過度に外部委託にシフトしていないか。	A	A
その他	省エネルギー、省資源、環境配慮物品等の購入など環境への配慮はなされているか。	A	A
	良好な関係を保つべき関係団体や地域との連絡調整は適切か。	A	A
	管理に要する法令は適正に遵守されているか。	A	A
	市との定例の連絡調整の機会が確保されているか。	A	A
	事業計画書（申請時）および年間事業計画書どおりに管理がなされているか。	A	A

評価欄の説明

- S：協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
- A：協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
- B：協定等を遵守し、概ね仕様書に沿った管理が行われたが、一部に課題がある。
- C：一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

2. 収支報告

単位:円

		事業計画A	事業実績B	A-B	前年度実績	備考
収入	利用料金収入	0	0	0	0	
	自主事業収入	96,000	110,738	(14,738)	97,165	
	物品販売収入	0	0	0	0	
	手数料収入	0	0	0	0	
	指定管理料	53,583,000	53,583,000	0	53,144,000	
	その他収入	0	0	0	0	
	収入総額	53,679,000	53,693,738	(14,738)	53,241,165	
	人件費	21,378,000	23,938,252	(2,560,252)	24,377,430	
	事務費	1,857,000	1,573,408	283,592	1,092,408	
	管理費	15,395,000	13,938,045	1,456,955	15,166,120	
	自主事業経費	134,000	19,862	114,138	14,958	
	光熱水費	14,000,000	23,543,112	(9,543,112)	19,491,785	
	リース料	915,000	789,360	125,640	789,360	
	その他	0	0	0	0	
	支出総額	53,679,000	63,802,039	(10,123,039)	60,932,061	
収支差額		0	(10,108,301)	10,108,301	(7,690,896)	

3. 総合評価

自己評価

令和6年度の年間火葬件数は1,800件を超えました。提案時の市ご提示年間火葬予想件数は、1,700件で100件以上多くなりました。繁忙期は、1日最大件数（8件）に近づく日が続きましたが、施設利用者へ公平なサービスの提供ができるよう心がけ、苦情をいただくことはありませんでした。年間の火葬需要は右肩上がりになることが予想されます。人生終焉の場として厳かな空間を提供できるよう、引き続き職員の技術研鑽を積み重ね市民サービスの向上を図ります。葬儀業者からの簡易告別式や霊安室利用にも問題なく対応することができました。火葬炉運転業務は火葬炉メーカーのノウハウを活かし、環境に配慮しながら無事故運転を実施しました。驕ることなく気を引き締めて引き続き努めてまいります。収支につきましては、ここ数年続く光熱水費の高騰の煽りを受け、想定以上の赤字決済（▲9,543,112円）となりました。節電や消耗品などの削減を試みましたが、公平なサービスの提供を怠ることができないため、物価高騰による光熱水費の赤字を補填するには至りませんでした。このような状況でも施設利用者にご不便をおかけしないように努めました。次年度も物価高騰による光熱水費の増加が見込まれますが、施設の予防保全を重視するよう、市に相談しながら管理運営を努めさせていただきます。今後も施設利用者からの要望及び葬儀業者からの意見をもとに市民サービスの向上に努めてまいります。

令和6年度は、火葬件数が大きく増加となり、繁忙期には1日の最大件数8件に近い利用状況が連日続いたが、火葬待ち状況を最小限に食い止め、大きなトラブルなく業務遂行されたことは高く評価できる。またそれぞれの火葬炉に対して火葬件数を極力均等化させる運用をすることで、火葬炉への負担を軽減させるなど、火葬炉メーカーのノウハウを最大限生かした運営管理をされた。サービス面においては、定期的な社内研修や朝礼でのヒヤリハットの共有、市担当者との密な連携により質の高いサービスの提供を心掛けている点等も高く評価できる。収支については、昨今の光熱水費高騰と火葬件数増加によるガス、電気代が特に収支を圧迫するなか、効率的な火葬運用によるガス使用の抑制、こまめな消灯などによる電気使用の抑制に努められた。

令和7年度においては、引き続き火葬件数の増加や光熱水費の高騰が続くと予想されるなか、厳正な内部事務に努め効率的な施設管理運営かつ質の高いサービスの提供により、市民サービスの向上が図られることを期待する。